

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 島根県隠岐地域離島航空路線協議会

平成29年12月22日

評価対象事業名: 離島航空路運航費等補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
日本エアコミューター 株式会社	人及び物資を運搬するため、 隠岐～出雲間を1日1往復運 航	(隠岐空港利用促進協議会) 路線の維持・確保のため、引 き続き利用促進事業に取り組 んだ。 ○具体例 平成29年4月から実施の有人 国境離島社会維持推進交付金 による運賃低廉化について、新 聞折込等で繰り返し周知を行 い利用促進を図った。 (補助対象事業者) 業務の効率化、コスト削減等 に努めた。 ○具体例 各部門(整備、運航等)ごと に、費用を細かく管理し、管理 可能費用(出張旅費等)の削減 を実施した。	A 計画どおり事業は適切に実 施されている。	A ○運航便数: 目標どおり1日 1往復(サブ機36席) ○旅客数: 目標16,054人/年 に対し、4月～10月までの実 績10,712人/7ヶ月	(特記事項) 平成29年4月から有人国境離 島社会維持推進交付金による 運賃低廉化の実施。 (改善点) 島の人口減少や高齢化に伴 い、内需の低迷が予想される 中で、当該路線を維持するた め、運賃低廉化の浸透等の利 用促進を図る。 併せて、事業者による業務の 効率化、コスト削減等による収 益改善に引き続き努める。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年12月22日

協議会名：	島根県隠岐地域離島航空路線協議会
評価対象事業名：	離島航空路運航費等補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	(事業の必要性) 隠岐諸島は、島根半島の北東約40～80キロメートルの日本海上に位置し、4つの有人島と180余りの小島からなる群島で、面積は345.92平方キロメートル、人口は20,265人である。 近年では、若者の島外流出や少子化による人口減少・高齢化が進行し、内需の低迷が予想されるなど、隠岐出雲路線は採算性の確保や路線維持の見通しが厳しい状況にある。 (事業の目的) ・離島住民の日常生活に欠かせない生活路線である隠岐出雲路線を維持し、島民生活の安定を図る。 ・地域や産業を維持・発展させていくために必要な交流人口の維持・拡大を図るため、離島航空路確保維持計画に基づき、路線の維持・存続を図る。